

YCU PLAN

2024

(公立大学法人横浜市立大学 令和6年度 計画・予算概要)



公立大学法人 横浜市立大学

Public University Corporation Yokohama City University

はじめに

令和6年度は、第4期中期計画(令和5年度～令和10年度)の計画達成に向けた取組を加速させる重要な年です。

令和6年度計画では、YCU ミッションのもと、「研究の横浜市立大学」としてさらなる発展を目指すため、大型産学官共創拠点事業を組織的に推進するとともに、社会情勢の変化に柔軟に対応していくため、自律的かつ持続可能な法人経営の実現に向けて令和5年度に開始した改革の取組をより一層推進していきます。

予測困難な時代において、大学に求められる役割が大きく変化する中、横浜市立大学では、豊かな教養と高い倫理観により新たな価値を創造する人材の育成、オープンイノベーションによる研究成果の社会実装、地域医療最後の砦としての医療提供などを通じて大学の存在意義を高め、横浜市民はもとより、広く国際社会に貢献する大学・病院となることを目指します。

～YCU PLAN とは～

公立大学法人横浜市立大学が当該事業年度に取り組み主な事業、年度計画をまとめた冊子です。YCU PLAN をご覧になることで、本学が取り組む当該事業年度の特徴ある事業について把握することができます。

なお、過年度のものを含め、本学ウェブサイト上にて公開していますので、是非ご参照ください。

URL:<http://www.yokohama-cu.ac.jp/univ/corp/finance/index.html>

《用語解説》

①中期目標・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第25条・78条

設立団体(横浜市)が、法人が達成すべき業務運営に関する目標を定め、法人に対して指示したものです。

なお、公立大学法人については、特例により中期目標期間が6年間となっています。

②中期計画・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第26条

設立団体(横浜市)の指示(中期目標)に基づき、法人が計画的に業務を実施し、中期目標を達成するために策定するものです。法人が策定したうえで、設立団体の長(横浜市長)の認可が必要になります。

なお、本法人においては、

第1期中期計画期間:平成17年度～平成22年度

第2期中期計画期間:平成23年度～平成28年度

第3期中期計画期間:平成29年度～令和4年度

第4期中期計画期間:令和5年度～令和10年度

であり、令和6年度は第4期中期計画期間の2年目にあたります。

③年度計画(※)

事業年度の開始前に、中期計画に基づき、その事業年度の業務運営に関する計画の定性的指標・定量的指標を定めたものです。

④予算(年度計画(※)の一部)

年度計画に基づく法人における教育、研究、診療その他の活動に関する計画を明確に計数化したものです。本法人では、大学、附属病院、附属市民総合医療センターの3部門をそれぞれ予算単位としていますが、最終的には3部門を合算して法人として表示しています。

※令和6年度計画より、公立大学法人の年度計画の策定は法定義務ではなくなりました。

目次

公立大学法人横浜市立大学 令和6年度計画概要図 1 頁

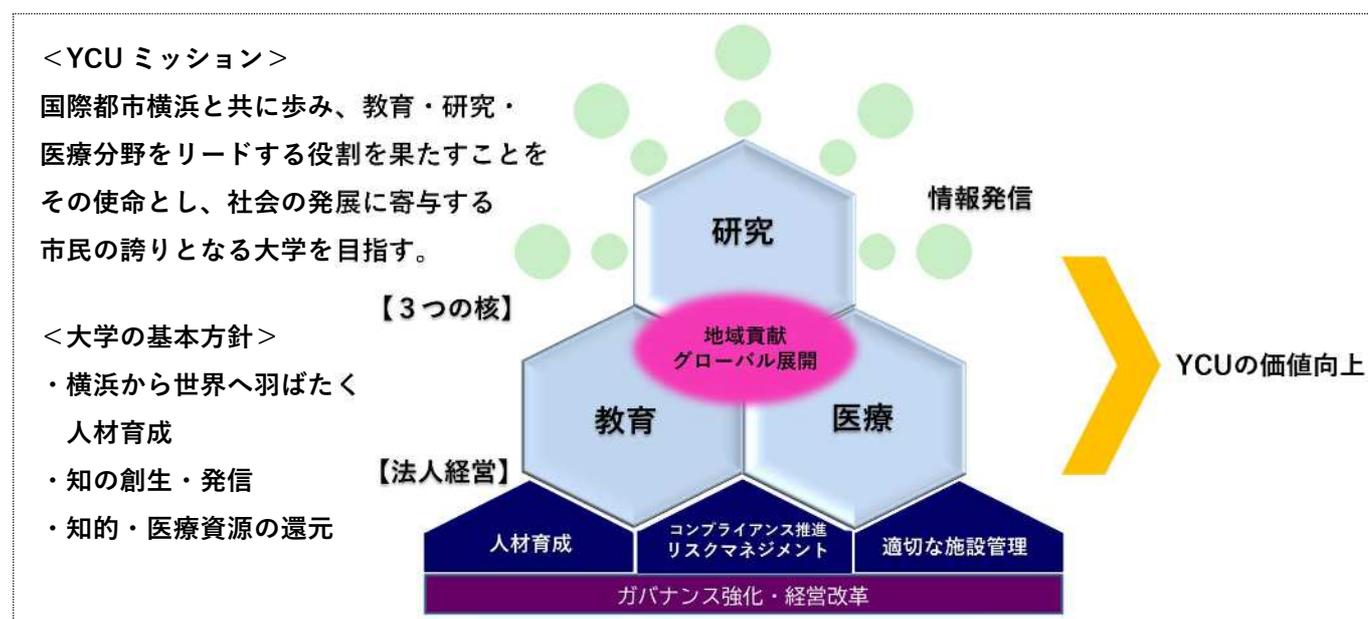
<令和6年度 主な取組>

I 教育に関する主な取組	2 頁
II 研究に関する主な取組	3 頁
III 医療に関する主な取組	4 頁
IV 法人経営に関する主な取組	6 頁

<令和6年度 見込損益計算書>

【法人全体】	8 頁
【大学】	9 頁
【附属病院】	10 頁
【附属市民総合医療センター】	11 頁
<参考>	
令和6年度 法人収支計画(現金ベース)	12 頁

■第4期中期計画(令和5年度～令和10年度)の概要図



■SDGs アイコンについて

SDGsとは、国際連合が2015年に定めた、持続可能な社会実現のための17項目からなる目標(持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals)の略で、2030年の達成を目指すものです。

本学では、教育・研究・法人経営各分野の取組を通じ、SDGsを推進しており、YCU PLANでは、取組ごとに関連するSDGsアイコンを記載しています。

その他の取組は本学 Web サイトをご覧ください。https://www.yokohama-cu.ac.jp/univ/activity/sdgs/sdgs_info.html



YCU ミッション
国際都市横浜と共に歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す。

取組の基本方針
■「横浜から世界へ羽ばたく」人材育成と知の創生・発信
■学生・市民・社会に対して本学が有する知的・医療資源の還元

6年度の位置付け
第4期中期計画（令和5～10年度）の2年目となる令和6年度は、計画達成に向けた取組を加速させる重要な年です。自律的かつ持続可能な法人経営に向けた改革に決意をもって取り組めます。

	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
国など	第6期科学技術イノベーション基本計画	イノベーション基本計画	第4期教育振興基本計画（2023～2027） （～2025）	第7期科学技術・イノベーション基本計画（2026～2030）	第4期教育振興基本計画（2023～2027）	第5期教育振興基本計画
横浜市	中期計画（2022～2025） よこはま保健医療プラン	中期計画（2022～2025） よこはま保健医療プラン	中期計画（2026～2029）	中期計画（2026～2029） よこはま保健医療プラン（2024～2029）	中期計画（2026～2029）	中期計画（2026～2029）
YCU	第4期中期目標・中期計画（2023～2028） 大学創立100周年事業（～2028）	第4期中期目標・中期計画（2023～2028） 大学創立100周年事業（～2028）	第4期中期目標・中期計画（2023～2028） 大学創立100周年事業（～2028）	第4期中期目標・中期計画（2023～2028） 大学創立100周年事業（～2028）	第4期中期目標・中期計画（2023～2028） 大学創立100周年事業（～2028）	第4期中期目標・中期計画（2023～2028） 大学創立100周年事業（～2028）
	データサイエンス研究所 ヘルスDS専攻 博士後期課程開設	データサイエンス研究所 ヘルスDS専攻 博士後期課程開設	データサイエンス研究所 ヘルスDS専攻 博士後期課程開設	データサイエンス研究所 ヘルスDS専攻 博士後期課程開設	データサイエンス研究所 ヘルスDS専攻 博士後期課程開設	データサイエンス研究所 ヘルスDS専攻 博士後期課程開設
	医学教育分野別認証評価受審（医学）	医学教育分野別認証評価受審（医学）	医学教育分野別認証評価受審（医学）	医学教育分野別認証評価受審（医学）	医学教育分野別認証評価受審（医学）	医学教育分野別認証評価受審（医学）
	学長選考	学長選考	学長選考	学長選考	学長選考	学長選考
					大学機関別認証評価受審	大学機関別認証評価受審
					病院機能評価受審（附属病院）	病院機能評価受審（附属病院）
					医学教育分野別認証評価受審（看護）	医学教育分野別認証評価受審（看護）
						大学創立100周年 記念式典

I 教育

(□ は計画番号)

地域貢献・グローバル展開

- ◆ データサイエンス学部、研究科の機能強化【5】
- ◆ グローバル教育の推進【2】【9】【10】【36】
- ◆ 社会ニーズに対応したリカレント教育の提供【5】【11】

II 研究

9 最先端の最先端の最先端

- ◆ 先進的な医学研究及びトランスレーショナルリサーチの推進【12】
- ◆ 学長裁量事業（戦略的研究、学術的研究）による研究の推進【13】【15】【16】
- ◆ 産学官共創オープンイノベーション研究施設の整備【14】
- ◆ 研究基盤の強化・新たな知見の創出に向けた研究機器の整備及び技術員の配置【15】

III 医療

(【附】は附属病院、【セ】はセンター病院)

地域貢献・グローバル展開

- ◆ 新興感染症等への体制整備【18】
- ◆ 附属2病院の新たな連携体制によるがんゲノム医療の推進【23】
- ◆ 遠隔ICU事業の推進【附】【21】
- ◆ 医療機器や施設・設備の計画的な更新【21】
- ◆ 重症系病床等の拡充・改修工事の実施【21】

VI 法人経営

8 働きがいも経済成長も

- ◆ 課題解決を目指した地域社会との協働の推進【38】
- ◆ 医学部・病院等再整備事業の検討【40】
- ◆ 大学創立100周年事業の推進【28】【34】
- ◆ 広報活動の一層の推進【37】
- ◆ 不断の経営改革及び持続可能な経営のための自己収入確保【28】【29】
- ◆ 経営改革を強力に推進するガバナンスの充実【26】【30】【31】
- ◆ DXの推進【27】【29】

I 教育に関する主な取組



■3つのポリシーの実現と教育の質保証の推進【1】【4】

高等教育推進センターを中心とした全学的な取組として、教学 IR 活動により明らかになった課題の解決を目的とした FD・SD 研修会を実施するとともに、カリキュラムや授業内容の改善を進め、教育の質向上を図ります。

※3つのポリシー：卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー) 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)



■文部科学省認定「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の推進【3】

令和4年度に文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の認定を受けた領域横断プログラム(ADEPT プログラム)、データサイエンス人材育成プログラムの推進により全学的なデータサイエンス教育を進めます。また、「国際商学部データサイエンス人材育成プログラム」の応用基礎レベルへの申請を行います。



■グローバル教育の推進【2】【9】【10】【36】

グローバル教育では、新型コロナの経験を踏まえ、質の高い留学プログラムを提供するために既存プログラムの充実を図るとともに、市及び市内機関等と連携して、横浜ならではの国際体験の機会を提供します。



■データサイエンス学部、研究科の機能強化【5】

令和5年度に選定された文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」により、データサイエンス学部、研究科の機能強化を進めます。



■社会ニーズに対応したリカレント教育の提供【5】【11】

大学の強みや特色を活かし、データサイエンスや病院経営に関する履修証明プログラムを実施するなど、リカレント教育プログラムの実施を推進します。

また、みなとみらいサテライトキャンパスの積極的な活用やオンライン講座の実施などにより、社会人にも学びやすい環境を提供します。

教育関連の主な予算

○高等教育推進センター事業	[1 百万円]
○国際化関連事業	[125 百万円]
○大学・高専機能強化支援事業	[198 百万円]

II 研究に関する主な取組

■先進的な医科学研究及びトランスレーショナルリサーチの推進【12】

YCU 連携研究コア※を推進し、新たな研究プロジェクトの展開を目指します。

YCU 連携研究コア

基礎と臨床の研究者が連携して研究を進めることで、効果的・効率的に外部研究費の獲得や臨床応用につながる新たな研究が創出されることを目的とした先端医科学研究センターのオープンプラットフォーム



■学長裁量事業(戦略的研究、学術的研究)による研究推進【13】【15】【16】

データ活用により本学の「強み」や今後期待される研究分野を見出し、革新的な研究成果の創出を目指します。また、学際的研究を推進し、次の「強み」となる研究分野を創出するとともに、新たな若手研究者の支援案を策定します。



■産学官共創オープンイノベーション研究施設の整備【14】

JST「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)事業」(令和4年度採択)、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」(令和5年度採択)など国の大型研究費を活用して産学官共創オープンイノベーション研究の推進や施設の整備を進めるとともに、学内シーズの発掘から社会実装までをサポートする共創イノベーションセンターを設置のうえ、メンタルウェルビーイングの研究開発の国際拠点を目指して、産学官連携によるオープンイノベーションを推進します。



■研究基盤の強化・新たな知見の創出に向けた研究機器の整備及び技術員の配置【15】

福浦キャンパスに共用研究機器、医学研究データ解析用GPU・大容量メモリーサーバーを整備し、管理技術員を配置することで、若手研究者の研究時間・研究環境の確保を図ります。



研究関連の主な予算

○学長裁量事業(戦略的研究、学術的研究)	[107 百万円]
○地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業	[1,861 百万円]
○共創イノベーションセンターの設置★	[18 百万円]
○研究基盤の強化に向けた研究機器の整備及び技術員の配置★	[18 百万円]

Ⅲ 医療に関する主な取組

■医療安全文化の醸成と体制の拡充【18】

医療の質向上のための体制整備事業「医療の質可視化プロジェクト」に参画して評価を行うことで、継続的な医療の質改善活動につなげます。

■新興感染症等への体制整備【18】

新型コロナ対応の経験を踏まえ、福祉保健センターや地域の医師会と連携して、新興感染症等の発生を想定した訓練を実施し、今後の新興感染症等への体制整備を図ります。

■附属2病院の新たな連携体制によるがんゲノム医療の推進【21】【23】

令和5年4月に附属病院はがんゲノム医療拠点の指定を受け、センター病院(がんゲノム医療連携病院)との新たな連携により、がんゲノム医療を推進します。

■遠隔 ICU 事業の推進【附】 【21】

医療の質の向上や勤務環境の改善を図るため、複数の病院の集中治療室の医療情報をネットワーク通信でつなぎ、附属病院に設置した「支援センター」から集中治療専門の医師等が患者をモニタリングし、遠隔で現場の医師等に助言をする遠隔 ICU 事業に取り組んでいます。令和6年度診療報酬改定による保険収載後の運用開始に向けた取組を進めます。

■医療機器や施設・整備の計画的な更新【21】

附属2病院間で、電子カルテの統合や、医療機器の耐用年数を考慮した計画的な購入を進めるとともに、維持保全と安全確保のための施設整備を計画的に行います。

■重症系病床等の拡充・改修工事の実施【21】

特定機能病院及び高度急性期病院としての機能強化に向けて、重症系病床等の改修工事を実施します。

■病院機能評価の受審による医療の質改善・向上【セ】 【18】

公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価(一般病院3)を受審し、医療の質の継続的な改善・向上を図ります。

■専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了看護師の育成と活用 【25】

高度化・複雑化する医療に対応するため、臨床実習指導者講習会の受講や大学院への進学を促進するなど、看護師のスキル向上に向けた取組を進めます。



■医師の労働環境の向上【33】

令和6年4月から開始となる医師の働き方改革の新制度に対応するため、医師事務作業補助者の配置によるタスクシフト・タスクシェアなどを推進します。

また、臨床実習環境の更なる充実に向けた教育研究診療設備の整備に取り組みます。



附属病院



附属市民総合医療センター

附属2病院関連の主な予算

○医療機器の更新・整備	【附】[750 百万円]【セ】[750 百万円]
【附】放射線機器の更新(SPECT 装置・3テスラ MRI)	
【セ】注射薬自動払装置の更新	
○施設・設備の更新・整備	【附】[180 百万円]【セ】[277 百万円]
○重症系病床拡充・手術室拡充・病床個室化改修工事★	【附】[517 百万円]
○重症系病床及び生殖医療センターの拡充★	【セ】[162 百万円]
○医師の働き方改革への対応	【附】[180 百万円]【セ】[255 百万円]

IV 法人経営に関する主な取組

■ 不断の経営改革及び持続可能な経営のための自己収入確保【28】【29】

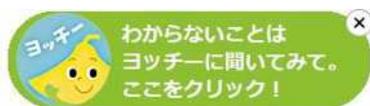
18歳年齢人口が減少する中、時代の変化や社会の要請に柔軟に対応していくため、「改革推進会議」を中心に、プロジェクト形式で全学をあげた経営改革を実行します。

■ 経営改革を強力に推進するガバナンスの充実【26】【30】【31】

理事長直轄の「監査室」を新たに設置し、内部監査及び監事監査業務を支援することで、ガバナンスの一層の充実を進めます。

■ DXの推進【27】

公式ホームページにAIチャットボットを導入し、学生サービスの向上及び問合せ業務負担も軽減を進めるなどDXを推進します。



■ 医学部・病院等再整備事業の検討【40】

医学部・病院等の再整備候補地の見直しに伴い、横浜市と連携しながら「医学部・病院等再整備基本計画」の調整・検討を推進します。

■ 大学創立100周年事業の推進【28】【34】

100周年に向けた機運醸成の取組として、新たな講演会の開催や関連リーフレットを作成するなど機運醸成を推進します。また、寄附金の目標額獲得に向けて法人トップ(理事長、学長等)とファンドレイザーを中心とした渉外活動を進めます。



周年ロゴマーク
コンセプト「パレット palette」

■ 広報活動の一層の推進【37】

令和5年度末に策定した広報戦略を推進するとともに、「研究の横浜市立大学」について広く認知を図るため、研究成果を国内外に情報発信するなど広報活動をより一層推進します。

■ 課題解決を目指した地域社会との協働の推進【38】

地域貢献センターにおいて地域と大学をつなぐマッチングを進め、広く地域のニーズに応えるほか、教員地域貢献活動支援事業における効果的な支援制度の構築や、「地域貢献コーディネーター」の活動を強化することで、横浜市のシンクタンク機能としての役割を果たしていきます。

法人経営関連の主な予算

○経営基盤強化事業(目的積立金の活用による経営基盤の強化) ※各項目の★の総計	[715 百万円]
○医学部・病院等再整備事業の検討	[21 百万円]
○教員地域貢献等促進事業	[27 百万円]

《コラム》 研究力強化に向けた本学の方向性について

国は他の先進国から後れをとっている我が国の研究力強化のために、様々な施策を計画・施行しています。

研究力の高い大学や発展の見込める大学への集中的支援を行う制度として、「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」により、特定分野で世界トップレベルの研究拠点を形成する大学、基礎研究からイノベーション創出を一気通貫で行い大型の産学連携を推進する大学、産学官連携を推進し地域の産業振興や課題解決に貢献する大学に支援を行っています。

本学では、令和5年度に文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択され、産学官共創オープンイノベーション研究の推進や施設の整備を進めています。

学内シーズの発掘から社会実装までをサポートする共創イノベーションセンターを設置し、メンタルウェルビーイングの研究開発の国際拠点を目指して、産学官連携によるオープンイノベーションを推進します。

施設整備概要図

「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」 による施設整備概要（福浦キャンパス）

オープンイノベーションラボ（新築）

- A棟、B棟(3,332㎡)
- 産学官研究用のラボ併設インキュベーション施設（ウェット実験以外の機能施設）

主な施設：メタバースラボ、オープンイノベーションラボ（ドライ）、産学連携ルーム、セミナールーム等

オープンイノベーションラボⅡ（改修）

- 先端医科学研究棟内(600㎡)
- 産学官研究用のラボ併設インキュベーション施設
- (ウェット実験に特化した機能施設)

主な施設：MRIルーム



【法人全体】見込損益計算書

< 経常収益 >

(単位:百万円)

区分	R6予算	R5予算	差引
運営交付金収益	12,383	12,533	▲ 150
授業料収益等	3,204	3,125	79
医業収益	69,350	67,657	1,693
受託研究等収益	3,735	3,345	390
補助金収益	1,832	1,728	104
その他収益	1,468	1,404	64
経常収益 合計	91,972	89,792	2,180

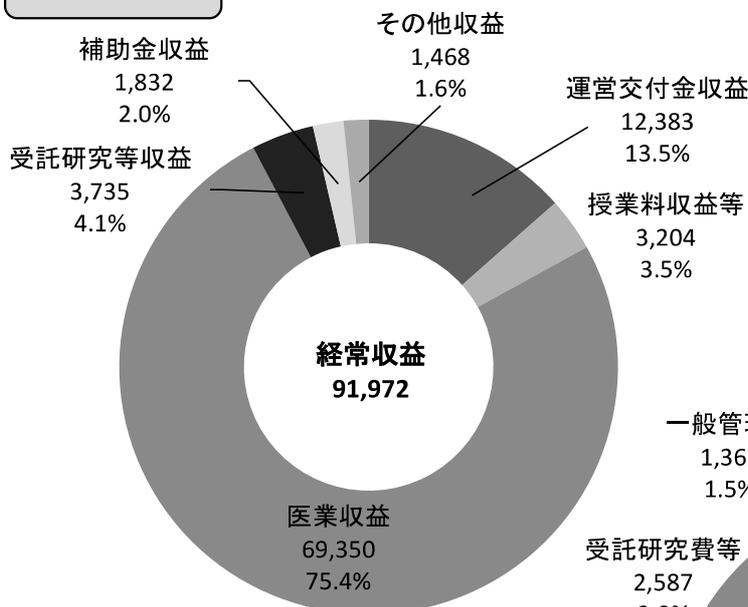
< 経常費用 >

区分	R6予算	R5予算	差引
教育研究経費	4,408	4,126	282
診療経費	41,690	40,615	1,075
人件費	38,606	37,654	952
受託研究費等	2,587	2,273	314
一般管理費	1,367	1,512	▲ 145
財務費用等	46	42	4
減価償却費	4,490	5,051	▲ 561
経常費用 合計	93,194	91,273	1,921

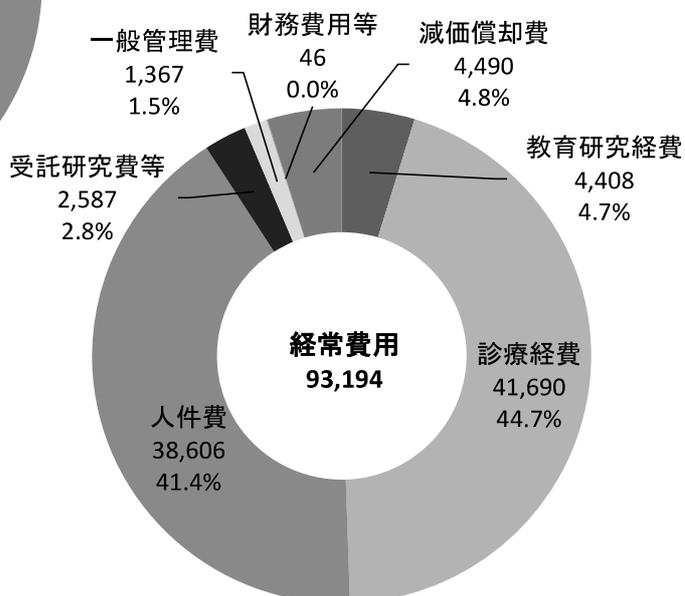
臨時利益	0	441	▲ 441
臨時損失	0	0	0
臨時損益	0	441	▲ 441
当期純損益	▲ 1,221	▲ 1,040	▲ 181
目的積立金取崩額	1,158	1,040	118
当期総損益	▲ 63	0	▲ 63

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

経常収益



経常費用



【大学】見込損益計算書

< 経常収益 >

(単位:百万円)

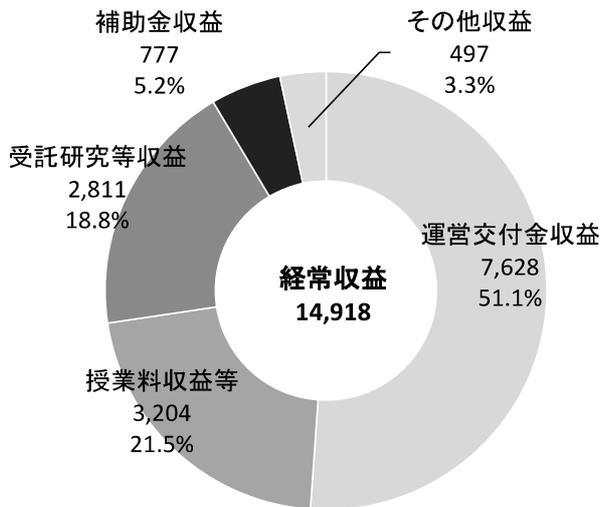
区分	R6予算	R5予算	差引	主な増減等
運営交付金収益	7,628	7,844	▲ 216	運営費(▲89)、施設整備(▲127)
授業料収益等	3,204	3,125	79	学生数(実員)の増
受託研究等収益	2,811	2,637	174	実績見込による増
補助金収益	777	681	96	支援事業等の採択による増
その他収益	497	446	51	
経常収益 合計	14,918	14,732	186	

< 経常費用 >

区分	R6予算	R5予算	差引	主な増減等
教育経費	1,570	1,450	120	支援事業等の採択による増
研究経費	1,960	1,855	105	実績見込による増
教育研究支援経費	441	438	3	
人件費	7,948	7,889	59	職員人件費の増
受託研究費等	1,663	1,565	98	実績見込による増
一般管理費	864	969	▲ 105	損害保険料、管理経費の減
財務費用等	11	3	8	支払利息の増
減価償却費	826	908	▲ 82	償却対象資産の減
経常費用 合計	15,282	15,078	204	

臨時利益	0	0	0	
臨時損失	0	0	0	
臨時損益	0	0	0	
当期純損益	▲ 364	▲ 345	▲ 19	
目的積立金取崩額	364	345	19	光熱水費への充当
当期総損益	0	0	0	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

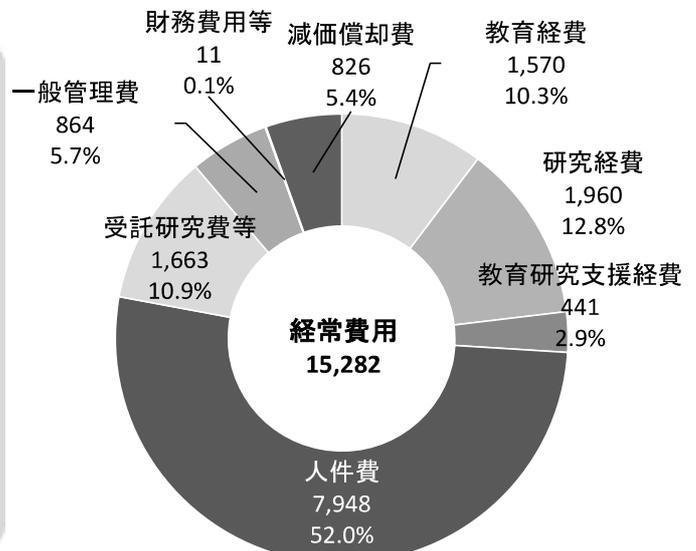


経常収益

- 運営交付金収益
学費対象経費、学費対象外経費、退職手当(市負担分)
- 授業料収益等
授業料等 2,809
入学金 308
入学検定料 87
- 外部資金(受託研究等収益、補助金収益)
受託・共同研究、奨学寄附金、補助金等
- その他収益
実験実習費・施設整備費(学生納付金)、寄附金、エクステンション講座収入等

経常費用

- 教育経費、教育研究支援経費
教材・実習費、授業料減免、図書館運営費、教育関連機器・設備維持管理費等
- 研究経費
補助金、奨学寄附金等の外部研究費等
- 受託研究費等
受託・共同研究、受託・共同事業
- 人件費
教員給与、職員給与、退職手当関連
- 一般管理費、財務費用等
八景C国有地賃借料、施設管理等の経費、損害保険料、リース支払利息、為替差損等



【附属病院】見込損益計算書

(単位:百万円)

<経常収益>

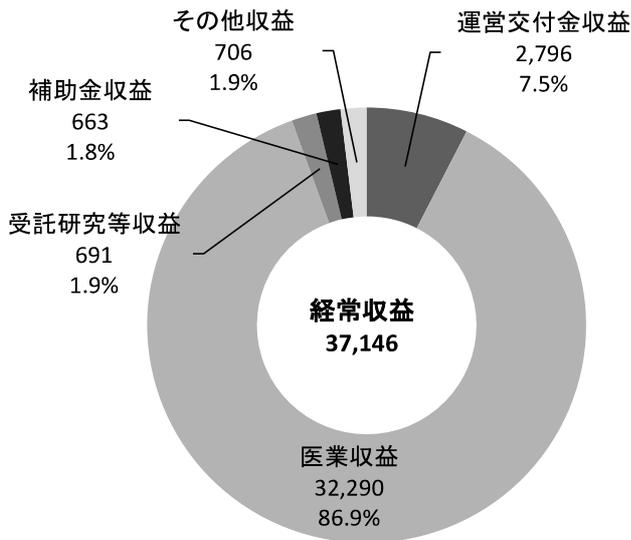
区分	R6予算	R5予算	差引	主な増減等
運営交付金収益	2,796	2,768	28	運営費(▲37)、施設整備(+65)
医業収益	32,290	30,915	1,375	診療単価の増に伴う収入の増
受託研究等収益	691	478	213	実績見込による増
補助金収益	663	660	3	がんゲノム中核病院補助金の増、臨床研修費補助金の減
その他収益	706	706	0	
経常収益 合計	37,146	35,526	1,620	

<経常費用>

区分	R6予算	R5予算	差引	主な増減等
教育研究経費	244	206	38	光熱水費の増
診療経費	19,292	18,725	567	材料費の増
人件費	14,473	14,285	188	医師の働き方改革への対応等による増
受託研究費等	691	478	213	実績見込による増
一般管理費	246	258	▲12	損害保険料の減
財務費用等	28	28	0	ファイナンスリース費用の減、借入金利息の増
減価償却費	2,166	2,179	▲13	償却対象資産の減
経常費用 合計	37,141	36,158	983	

臨時利益	0	295	▲295	
臨時損失	0	0	0	
臨時損益	0	295	▲295	
当期純損益	5	▲337	342	
目的積立金取崩額	353	337	16	光熱水費への充当
当期総損益	358	0	358	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

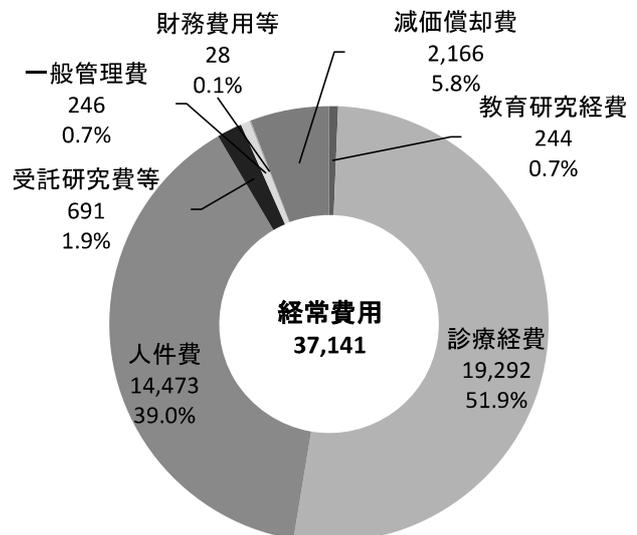


経常収益

- 運営交付金収益
収益的収支(退職手当市負担含む)、資本的収支
- 医業収益
入院診療収益 20,784
外来診療収益 11,151
その他(査定減含む) 355
- 外部資金(受託研究等収益、補助金収益)
治験、臨床研修費補助金等
- その他収益
駐車場利用料、院内保育料、看護宿舍料等

経常費用

- 教育研究経費
臨床研修関連費用、病院研究費等
- 診療経費
材料費 13,804
委託費 2,842
その他 2,720
- 受託研究費等
治験関連費用
- 人件費
教員給与、職員給与、退職手当関連
- 一般管理費、財務費用等
施設管理等の経費、損害保険料、リース支払利息



【附属市民総合医療センター】見込損益計算書

(単位:百万円)

<経常収益>

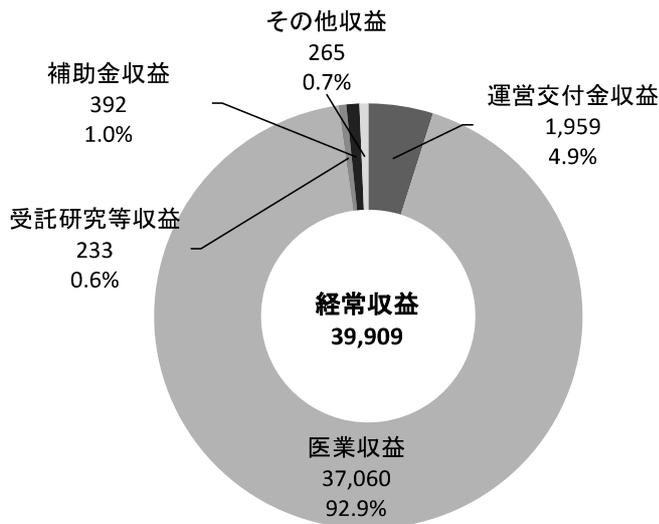
区分	R6予算	R5予算	差引	主な増減等
運営交付金収益	1,959	1,921	38	運営費(▲17)、施設整備(+55)
医業収益	37,060	36,742	318	診療単価の増に伴う収益の増
受託研究等収益	233	230	3	新規治験依頼件数の増に伴う収入の増
補助金収益	392	387	5	臨床研修費補助金の増
その他収益	265	252	13	駐車場利用料、看護宿舍収益の増
経常収益 合計	39,909	39,533	376	

<経常費用>

区分	R6予算	R5予算	差引	主な増減等
教育研究経費	193	177	16	看護学科生修学資金費用化の増
診療経費	22,398	21,890	508	医薬材料費の増
人件費	16,185	15,480	705	医師の働き方改革への対応等による増
受託研究費等	233	230	3	新規治験依頼増に伴う費用増
一般管理費	257	285	▲28	損害保険料の減
財務費用等	7	11	▲4	ファイナンスリース費用の減、借入金利息の増
減価償却費	1,498	1,964	▲466	償却対象資産(病院情報システム)の減
経常費用 合計	40,771	40,036	735	

臨時利益	0	145	▲145	
臨時損失	0	0	0	
臨時損益	0	145	▲145	
当期純損益	▲862	▲358	▲504	
目的積立金取崩額	441	358	83	光熱水費への充当
当期総損益	▲421	0	▲421	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

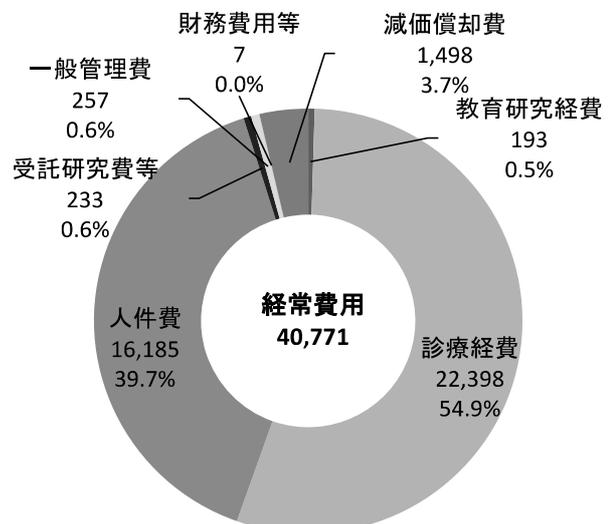


経常収益

- 運営交付金収益
収益的収支(退職手当市負担含む)、資本的収支
- 医業収益
入院診療収益 23,652
外来診療収益 13,315
その他(査定減含む) 93
- 外部資金(受託研究等収益、補助金収益)
治験、臨床研修費補助金等
- その他収益
駐車場利用料、院内保育料、看護宿舍料等

経常費用

- 教育研究経費
臨床研修関連費用、病院研究費等
- 診療経費
材料費 15,939
委託費 3,288
その他 3,171
- 受託研究費等
治験関連費用
- 人件費
教員給与、職員給与、退職手当関連
- 一般管理費、財務費用等



参考 令和6年度 法人収支計画(現金ベース)

<収益的収支>

(単位:百万円)

	令和6年度予算
運営交付金 A	10,735
自己収入	76,785
授業料及び入学金検定料	2,990
附属病院収入	69,350
補助金収入	2,907
その他収入	1,538
受託研究収入等	3,584
貸付金収入(奨学金返還金)	6
目的積立金取崩額 C	1,158
収益的収入 合計	92,268

	令和6年度予算
業務費	88,638
教育研究経費	6,308
診療経費	42,604
一般管理費	1,413
人件費	38,313
貸付金(奨学金)	81
受託研究費等	2,764
収益的支出 合計	91,483

<資本的収支>

(単位:百万円)

	令和6年度予算
運営交付金 B	1,648
長期借入金収入	1,500
目的積立金取崩額 D	712
資本的収入 合計	3,860

	令和6年度予算
施設整備費	2,917
長期借入金償還金	1,500
資本的支出 合計	4,417

<参考>

(単位:百万円)

	令和6年度予算
全体(収入-支出)	228
目的積立金取崩額 C+D	1,870
運営交付金交付額 A+B	12,383

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。